8/2・17 東金エコフェスタ 2025 in 夏

ごみの減量とリサイクルを体験

紙のリサイクルやごみの減量について関心を持ってもらうイベン ト、東金エコフェスタ。2日間で37名が、講義を受け、紙すきや水切 りを体験しました。

紙すき体験では、オリジナルのポストカードを作成。また、グッズ を使った生ごみの水切り体験では、水切りによる重さの変化を実感し ました。「家でも分別をやってみたい」「紙すき体験が楽しかった」と の声があり、エコがぐっと身近になった一日でした。



最後のひと絞りが大事。 「水切りでごみがみるみる スリムになったよ!」 「簡単にできた~」



(0) TOGANE_CITY









自分だけのポストカードが完成



9/22 JA 山武郡市 学校給食へ新米寄付

「国消国産」運動をPR

JAグループでは、私たちの国で消費する食べ物は、で きるだけこの国で生産する、「国消国産」運動を行っていま す。この運動の一環として、JA山武郡市から、地元で収 穫された新米が、学校給食のために寄付されました。

また、10月14日から16日にかけて、市役所でお米と野 菜が展示されました。JAでは、一人でも多くの方に国消 国産を広め、地域の農業を応援してもらえるよう取り組み を進めているそうです。



写真右から、JA山武郡市 土屋代表理事組合長、鹿間市長

9/13 田んぼの学校

鎌を手にみんなで稲刈

日本の主食であるお米を自分たちの手で育てる田んぼの学 校。稲刈りには45名ほどが生徒として参加し、先生たちに教 わりながら、鎌を使って収穫を体験しました。

雨模様で始まった稲刈りでしたが、晴れ間がのぞくにつれ、 みんな笑顔に。稲田を背景に記念撮影も楽しんでいました。

みんなで刈り取った稲はコンバインで脱穀し、その後、乾燥、 もみすりを経て玄米に。10月11日の修了式では、修了証書と 共にずっしりとしたお米が参加者に手渡されました。



田植えからがんばって手にしたお米、食卓に並ぶのが楽しみ

OF LEE & GO MA OF THE PARTY OF A TIME

10/1 戦没者追悼式

戦没者の安らかな眠りを祈って

東金文化会館で戦没者追悼式が行われ、戦没者の遺族ら約 60名が参列しました。参列者は祭壇に献花し、戦没者へ哀 悼の意を捧げるとともに、平和の尊さに思いを馳せました。

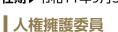


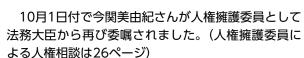
戦後80年、それぞれの思いを込めての献花

委員の委嘱

教育委員

10月1日付で松井靖さん(写真) が教育委員に就任しました。 任期▶令和11年9月30日まで





寄せられた善意

株式会社五十嵐商会(代表取締役社長 五十嵐和代) 様から100,000円を市行政のために、読売新聞日曜 市場有志一同(代表 館坂民和)様から12,000円を社会 福祉のためにご寄付いただきました。

大会などの結果 (敬称略)

■令和7年度夏季ソフトテニス大会

◆一般男子の部

優勝▶長島・秋葉ペア(一般)

準優勝▶吉岡・本間ペア(一般)

第3位▶斉藤・伊藤ペア(一般)、鈴木・川島ペア(一般)

◆一般女子の部

優勝▶宮坂・實川ペア(東金商業高校)

準優勝▶小原・田中ペア(一般)

第3位▶市川・小嶋ペア(一般)、鈴木夕・鈴木悠ペア(一般)

9月 安曇野市制施行20周年記念式典/穂高神社御船祭

友好都市 安曇野の歩みと魅力

友好都市安曇野市が10月1日に市制施行20周年を迎えま した。9月28日の記念式典には鹿間市長と坂本議長が出席。 安曇野の魅力を共有し、未来につなぐ一大イベントでした。

9月26日・27日には、古来から続き、長野県無形民俗文 化財に指定されている、穂高神社の御船祭が行われました。 子孫繁栄、五穀豊穣を願って「御船」と呼ばれる山車が境内で ぶつかり合うと、来場者から大きな歓声が上がりました。

魅力あふれる安曇野、皆さんも訪れてみてはいかがですか。



記念式典では消防団が 開始のファンファーレ を務め、表彰や高校生 による書道パフォーマ ンスなども行われまし た。

9月27日に行われた 御船祭の本祭。見上 げるほど大きな2台 の御船が掛け声と共 にぶつかり合います。



10/6 東金高校 総合的な探究の時間

高校生が東金市のことを深掘り

東金高校では、「総合的な探究の時間」として、さまざまな テーマについて掘り下げて考える授業が行われています。今 回は「東金市」を探究。この日は、市の複数の出前講座の中か ら、グループごとに、自分たちが知りたいテーマを選んで受 講しました。生徒の皆さんは、市の現状を理解した上で、課 題を見つけ、その課題をどのように解決したらよいかをこれ から探究していきます。



テーマは「公共交通」、「子育て支援」「ごみの減量とリサイクル」 など多岐にわたります。